

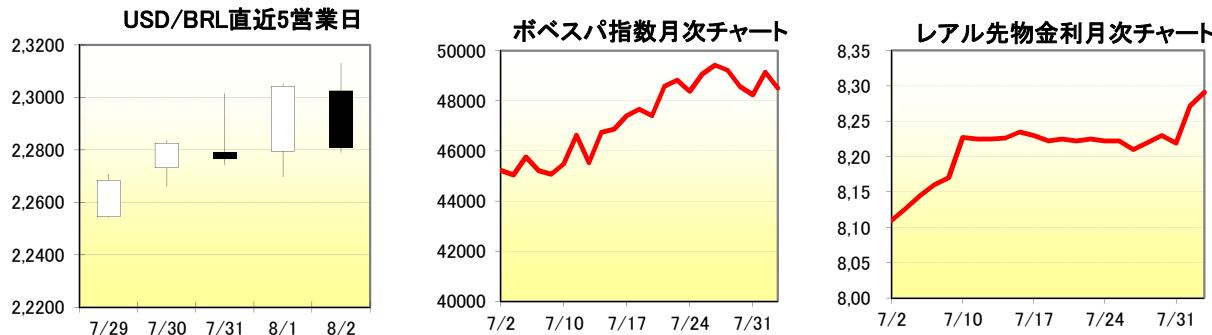
Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A



1. マーケット・レート

			7月29日	7月30日	7月31日	8月1日	8月2日	Net Chg
Forex	USD/BRL	Spot	2,2700	2,2810	2,2800	2,3020	2,2790	-0,0230
	USD/YEN	Spot	97,92	98,07	97,75	99,56	98,94	-0,6200
Swap	EUR/USD	Spot	1,3265	1,3267	1,3309	1,3201	1,3279	+0,0078
	BRL/YEN	Spot	43,17	42,96	42,93	43,21	43,26	+0,0500
Stock	Dollar Clean	6MTH(p.a.)	1,26	1,20	1,23	1,23	1,22	-0,0105
		1Year(p.a.)	1,40	1,40	1,43	1,44	1,40	-0,0419
Real Interest	Real Interest	6MTH(p.a.)	8,10	8,96	8,91	9,02	9,01	-0,0100
		1Year(p.a.)	9,20	9,25	9,23	9,47	9,40	-0,0736
Stock	Bovespa		49.212	48.562	48.234	49.141	48.474	-666,74
Bond	CDS Brazil 5y		189,85	190,12	186,62	186,83	181,29	-5,5440
	Global 40		119,100	119,000	119,000	119,000	119,000	u.c,

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインデイケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィcerまでお問い合わせ下さい。



2. 主要経済指標

3. 要人コメント

イベント	予想	実績	前回	
FIPE消費者物価指数(月次, 7月)	-0.20%	-0.13%	0.32%	なし
自動車販売台数(ラジル, 7月)	--	342280	318606	
自動車販売店連盟, 7月)				

4. 週間市況、トピックス

- 今週の為替相場は U\$1=R\$2.2550 で寄り付いた。
- 週初のレアルは寄付き後買いが優勢となり、週間高値となる U\$1=R\$2.2540 を付けたが、週央に注目の米 FOMC を控えて取引を手控える関係者が散見される中、大口の資金流出の噂が聞かれるたレアルはじりじりと 2.2810 まで下落した。
- 週央にかけては米 ADP 就雇用統計や第2四半期 GDP 成長率が予想比良好な結果となったことから米資産購入ペースの減速観測が強まり、対主要通貨でドルが大きく上昇、レアルも 2.3020 まで続落すると、伯中銀は 3 度に渡ってドル売り介入を通知し、レアルは 2.27 台後半まで反発した。しかし、3 度目のドル売り介入が見送られたことが嫌気されると、レアルは一気に反落、再び 2.30 台まで売られる展開となった。
- 翌 8 月 1 日には中国 PMI や伯鉱工業生産が予想を上回る結果となったことを受けて、レアルは一時買われるも、米失業保険新規申請者数や ISM 製造業景況指数が予想比良好な結果となったことから米資産購入ペースの減速観測が強まり、対主要通貨でドルが再び大きく上昇し、レアルも一気に 2.30 台前半まで反落した。
- 週末にかけてレアルは週間安値となる U\$1=R\$2.3130 を付けたが、米雇用統計が予想を下回ると対主要通貨でドルは一気に下落、レアルは 2.28 台後半まで反発した。更に伯中銀によるドル売り介入も見られるとレアルは続伸、結局 U\$1=R\$2.2790 で越週した。

当資料は相場情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願い致します。当資料は信頼できる情報源から得た情報に基づき作成されたものですが、その情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料は執筆者の見解に基づき作成されたものであり、弊社の統一された見解ではありません。当資料を使用することにより生じるいかなる種類の損失についても弊社は責任を負いません。

Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A



5.来週発表される主要経済指標

日付	イベント	期間	予想	前回
8/5	PMIサービス業	Jul	--	51.0
8/5	Trade Balance Weekly	Aug 4	--	-\$688M
8/5	Serasa Retail Activity			
8/6	FGVインフレ率IGP-DI(前月比)	Jul	0.23%	0.76%
8/6	自動車生産台数(ブラジル自動車工業会)	Jul	--	32082300%
8/6	自動車販売台数(ブラジル自動車工業会)	Jul	--	318619
8/6	自動車輸出(ブラジル自動車工業会)	Jul	--	51233
8/7	IBGEインフレ率IPCA(前月比)	Jul	0.00%	0.26%
8/7	IBGEインフレ率IPCA(前年比)	Jul	6.24%	6.70%
8/8	IGP-M Inflation 1st Preview	Aug	--	0.26%
8/8	FGV CPI IPC-S	Aug 7	0.10%	-0.17%
8/8	CNI設備稼働率(季調済)	Jun	--	82.2%
8/9	FIPE CPI-週次	Aug 7	-0.03%	-0.16%

6.来週の為替市場注目点

予想相場レンジ : 2.24-2.33

今週は米 FOMC や雇用統計を控えて市場参加者が取引を控える中、流動性は著しく低下しレアルは値の振れやすい展開となった。米緩和策縮小観測が高まる中、伯中銀はドル売り介入を通じて流動性を供給したが、レアルは4年振りの低水準となる 2.3130 まで下落した。その後は米 FOMC の声明で資産購入ペース減速時期に関する文言の変更が見られなかったことや、米雇用統計の予想比弱い結果を受けて米緩和縮小観測が後退し、レアルは 2.27 台まで回復した。来週は国内外で今週程の重要な経済指標の発表は予定されていないが、米国各地で多数の米地区連銀総裁のスピーチが予定されており、今後の緩和ペースを巡る議論が注目されるであろう。内容次第ではレアル相場は引き続き大きく動く可能性があり、注意が必要であろう。